

平成28年度 第1回千葉市スポーツ推進審議会議事録

1 日 時 平成28年7月19日(火) 午後2時00分～午後4時00分

2 場 所 千葉市教育委員会 第一会議室

3 出席者 (委員)

小川直哉会長、本澤英雄副会長、小川重夫委員、五月女重夫委員、佐藤正典委員
谷藤千香委員、馬場宏輝委員、人見博彦委員、松尾和美委員、山根和子委員
(事務局)

丸島生活文化スポーツ部長、塚瀬(公財)千葉市スポーツ振興財団施設長、
安藤スポーツ振興課長、山崎スポーツ振興課長補佐、阿部保健体育課長補佐、由利主任指導主事
宇井担当課長補佐、笠井主査、内山主査、竹内主事

4 議 題

(1) 報 告

- ア 平成27年度スポーツ振興事業実績及び平成28年度方針と施策について
- イ 千葉市スポーツ振興計画の進行管理について

(2) 議 事

- ア 本市ゆかりのトップスポーツチームとの連携の推進について
- イ 障害者スポーツの推進について

5 議題の概要

(1) 報告

2項目の報告を行った。

(3) 議事

2項目について、今後の進め方については了承をいただき、大学との連携や、

6 会議経過

開 会 午後2時00分

【山崎課長補佐】 それでは、定刻になりましたので、ただいまより、「平成28年度第1回千葉市スポーツ推進審議会」をはじめさせていただきます。本日の進行を務めます、スポーツ振興課の山崎でございます。本審議会は千葉市情報公開条例により、公開することになっております。なお、本日は傍聴者はありません。

会次第に従いまして、はじめに、委員の皆様のご紹介をさせていただきます。(委員10名を紹介)

なお、委嘱状につきまして、委員の皆様にはご内諾をいただいておりますことから、お手元に配布させていただきましたので、宜しくお願いします。

それでは、続きまして生活文化スポーツ部長の丸島より御挨拶申し上げます。

【丸 島 部長】 本日はお忙しい中、また大変暑い中、お越しいただきまして誠にありがとうございます。また日頃から千葉市政にご尽力いただきまして誠にありがとうございます。本スポーツ推進審議会は2年の任期となっております、今回から新たに4名の委

員さんにお越しいただいております。また、6名の方については、前回に引き続きとなります。これから2年間で色々ご審議いただくこととなりますので、どうぞよろしくお願いいたします。昨年度はお手元に配布しておりますスポーツ推進計画についてご審議いただき、今年度から本計画に基づき各種施策に取り組んでいくこととなります。本計画は今後10年間の基本方針と、今後5年間に取り組むべき事業を掲載しておりますが、その中で重点事業として、「トップスポーツチームとの連携の推進」、「障害者スポーツの推進」を掲げております。本日は、この2つの重点事業について、これから具体的にどのように進めていくかということについてご審議いただきたいと考えております。簡単ではございますが、開会に先立ちまして、私のあいさつとさせていただきます。本日はよろしくお願いいたします。

【山崎課長補佐】 ここで、職員を紹介させていただきます。(事務局職員10名を紹介)次に、役員を選出でございますが、お配りしている「平成28・29年度千葉市スポーツ推進審議会委員一覧」の裏面にあります「千葉市スポーツ推進審議会に関する条例」の第5条に会長、副会長を置くこととなっております。同条第2項により皆様の互選により定めていただきますようお願いいたします。

【五月女委員】 前回と同様、小川直哉委員へお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。

【各委員】 <了承>

【小川(直)委員】 了解しました。それでは、副会長についてですが、前回、千葉市スポーツ推進委員連絡協議会会長にお願いしていることから、本澤委員へお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。

【各委員】 <了承>

【山崎課長補佐】 それでは小川直哉会長にご挨拶をお願いいたします。

【小川会長】 本日は本当に暑い中、当審議会にお集まりいただき誠にありがとうございます。私も市体育協会の副会長となってからあつという間に2年が過ぎました。この間、東京オリンピック・パラリンピックに関しては、本市の幕張メッセにおいて、レスリングなどのオリンピック3競技、シッティングバレーボールなどのパラリンピック4競技、合わせて7競技の開催が決定しております。また、リオオリンピック・パラリンピックも間近に迫ってきておりまして、本市ゆかりの選手の活躍が期待されているところであります。本市のスポーツを推進していくためには、こうしたトップアスリートの養成も大切ですが、それ以上に、広く一般市民がスポーツに楽しむことができるような取組が必要となります。スポーツは、単に楽しむということだけでなく、生活習慣病などの予防のための健康目的など、多種多様な目的で幅広く行われており、それぞれのライフステージに応じて長くスポーツを楽しむ、そして健全な心と体を育成することが重要だと思います。千葉市のスポーツ文化について、当審議会の委員の皆様と多少なりとも貢献できればという思いで頑張っていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

【山崎課長補佐】 ありがとうございます。続きまして、本澤副会長にご挨拶をお願いいたします。

【本澤副会長】 大変お忙しい中、皆様お集まりいただきまして誠にありがとうございます。今回初めて大役を仰せつかりました。千葉市のスポーツ推進委員も540名弱、今年から再スタートしております。千葉市のスポーツ振興に我々も協力していきたいと思っております。また、子どもたちも非常に少なくなっておりまして、盛んに各地域でジュニアスポーツが行われております。子どもたちから大人の競技まで、色々携わってい

たいと思います。また、これからオリンピック・パラリンピックに我々が協力できることがあれば、そちらにも協力していきたいと思いますので、よろしくお願ひいたします。

【山崎課長補佐】ありがとうございました。これからの進行につきましては、小川会長にお願ひいたします。

【小川 会長】まず、「議事録署名人」について、先程、山崎課長補佐から説明があったように、本審議会は会議が公開されており、議事録の確定方法については、「あらかじめ指名された委員」による承認にしたいと思いますが、よろしいですか。

【各 委 員】<異議なし>

【小川 会長】それでは、議事録署名人として、山根委員にお願ひしたいと思います。

【山根委員】<了承>

【小川 会長】それでは、会議次第に従いまして、進めてまいりたいと思います。

最初に、報告（１）の「平成 27 年度スポーツ振興事業実績及び平成 28 年度方針と施策について」、はじめに、スポーツ振興課よりお願ひします。

【内山 主査】<資料 1 により報告>

【小川 会長】次に、保健体育課よりお願ひします。

【阿部課長補佐】<資料 2 により報告>

【小川 会長】次に、スポーツ振興財団よりお願ひいたします。

【塚瀬施設長】<資料 3 により報告>

【小川 会長】今の報告について、何かご質問はありますか。

【五月女委員】保健体育課の「武道等指導充実・資質向上支援事業」とありますが、技を教えているのか、武道としての理念を教えているのか、また、特別支援学級に対してどのような武道の授業が行われているのか教えてください。

【阿部課長補佐】柔道を通して心身、体力の向上を図るというのですが、技、理念の両面から指導しております。

【由利主任指導主事】特別支援学級については、子どもたちの実態に応じて、担任が指導計画を立てて指導しております。本事業について、各学校に実態調査を行っているわけではないので、はっきりとは申し上げられませんが、武道等をしているのは少ないのではないかと思います。

【五月女委員】技だけを教えてしまうと、どうしても同じクラスの中でも運動の苦手な子など、武道の好き嫌いがはっきりしてしまうのではなかと申します。武道は道徳教育だと思ひますので、技だけでなく、理念や心を教えるべきではないかなと感じたので質問させていただきます。ありがとうございました。

【馬場 委員】スポーツ振興課と保健体育課の事業の棲み分けは学校教育と一般スポーツということによくわかるのですが、スポーツ振興課とスポーツ振興財団との棲み分けはどうなっているのでしょうか。

【安藤 課長】結論から申し上げますと、スポーツ振興課ができないことをスポーツ振興財団に補充してもらっているということになります。大きな棲み分けとしては、スポーツ振興課では大規模イベントの企画や、推進計画の策定など、大きな方向性を定めており、スポーツ振興財団では、ポータルリーナの施設管理や、スポーツ教室の開催など、実動部分を担っていただいています。

【山根 委員】ほとんど海に行かないのですが、海洋普及事業の対象はどういう方なのか、また、

障害者もその対象に含まれているのでしょうか。

【塚瀬施設長】 稲毛ヨットハーバーで、小学生や一般の大人向けにヨットの初心者教室などを開催しています。また、障害者の方についても、千葉障害者セーリング協会に協力していただき、入門教室を開催しています。

【小川 委員】 スポーツ振興課の事業の中で「障害者スポーツ指導員の養成」とありますがこの主催者はどこになりますか。

【安藤 課長】 平成28年度については、スポーツ振興財団が主催となって行います。もともとは、スポーツ振興課にて平成26年度から主催事業として始めたもので、初級障がい者指導員養成講習会というもので、山根委員をはじめ、千葉障がい者スポーツ指導者協議会にもご協力をいただきながら実施しております。

【山根 委員】 今回の日曜日にもポートアリーナで実施します。実技としてボッチャ競技をやっています。リオパラリンピックに出場する選手を招いて、選手と一緒に競技を体験するというもので、今年で3回目となります。そのほか、中級・上級の資格を持った指導員も講師を務めています。

【小川 委員】 県レクリエーション協会でも、今年は、障害者スポーツを体験しようという企画を考えております。自分たちも障害者スポーツを実際にやってみないと分からないということで、その体験をと考えていたもので。

【山根 委員】 体験会ということでは、市の計画で各小学校にパラアスリートの学校訪問活動をするということで、スポーツ振興課から指導員の派遣依頼を受けてやっております。今年度だけでなく、来年度以降も続くと考えております。

【小川 会長】 ほかに質問などありますか。

【委 員】 <なし>

【小川 会長】 それでは報告（2）、「千葉市スポーツ振興計画の進行管理について」、事務局よりお願いします。

【内山 主査】 <資料4により報告>

【小川 会長】 今の報告について、何かご質問はありますか。

【佐藤 委員】 「親子体操教室」の回数についてですが、これはニーズがなかったということなのか、また、参加された方の声があればお伺いしたいということと、「トップスポーツ連携の推進」で連携回数が28回とありますが、この内容というのはどういうものですか。

【宇井担当課長補佐】 「親子体操教室」についてですが、1・2歳のお子さんとその保護者を対象に体操教室を開催したというのですが、他の教室等との調整から指標の達成には至っておりません。2回の開催で、いずれも募集定員を上回る応募はなく、回数を増やしてほしいなどの声は聞いておりません。なお、申込み後に、子どもの体調などにより、参加できなかったというケースがあったと聞いております。

【内山 主査】 トップスポーツ連携についてですが、ホームタウン推進のジェフとロッテについては経済部で担当しておりますので、スポーツ振興課としては、それ以外のチームを対象としております。たとえば、千葉ジェッツやオービックシーガルズ、富士通陸上部などです。この後、詳しくご説明しますが、以前審議会の中でトップスポーツ懇話会というものを設置して、ゆかりのチームというのを選定しており、そのチームとの連携による学校訪問活動や、選手・チーム情報の紹介などの回数となっております。

- 【小川会長】ほかに質問などありますか。
- 【委員】<なし>
- 【小川会長】続きまして議事に入ります。議事（１）、「本市ゆかりのトップスポーツチームとの連携の推進について」、事務局よりお願いします。
- 【内山主査】<資料５により説明>
- 【小川会長】今の説明について、質問、ご意見等ありましたらお願いします。
- 【馬場委員】トップスポーツチームとの連携というのは、それぞれのチームと千葉市が連携するというで伺いましたが、チーム同士の連携というのはあるのでしょうか。
- 【内山主査】実際にチーム同士での連携というのはありません。千葉大学を中心に、ちば夢チャレンジというイベントがあります。これは千葉大学がハブになって各チームによるスポーツ指導等を行っています。また、「オトスポ」、これは大人のスポーツの略ですが、これも千葉大学が中心となって、各チームが参加するイベントがあります。
- 【馬場委員】トップスポーツチーム同士がうまく連携して何かできないかなと考えていたので質問させていただきました。
- 【佐藤委員】同じ千葉市をホームタウンとしたチームということで、いくつか連携したチームはあります。ロッテさんとはお互いに交流活動をしていますし、オービックシーガルズさんとはサッカーとフラッグフットボールの両方を夏休みに子供たちに体験してもらおうという取組をしています。また、京葉線の沿線に活動拠点があるチームということで、ジェフ、ロッテ、オービックシーガルズ、バルドラール浦安、千葉ゼルバ、千葉ジェッツ、の各チームとＪＲ東日本と組んで、お互いに連携してPRをしようというのを今年からやる予定です。こうした形で市民の方たちにプロのスポーツチームが身近にあるということを宣伝できればと思っているので、市の事業とうまく連携できれば、相乗効果があるかなと思います。
- 【馬場委員】地域によっては、市内の色々なプロスポーツチームが連携して活動するという事業をもっている地域もあるので、そういったものもうまく参考にできればいいかなと思います。
- 【人見委員】トップスポーツチームとの連携ということで、一番恩恵にあずかるのは学校の児童かなと思います。昨年度、本校でもロッテマリーンズと、オービックシーガルズの訪問活動をやってもらいまして、ロッテさんはユニホームを着て、校庭の端から端まですごい勢いでキャッチボールを見せてもらったりして、スポーツの楽しさに触れさせてくれるいい機会だと感じました。子どもたちも運動の２極化ということで、積極的に取り組む子供と、そうでない子どももおりますので、ぜひ運動をする楽しさを味あわせるためにも、もっと広く宣伝をしていただいて、多くの子供たちがこうしたことに触れる機会を作っていただけたらありがたいなと思います。それと、進行管理の達成指標で○と×として判断されていますが、特に×と判断された事業について、今後達成に向けた具体的な方策などはあるのでしょうか。
- 【内山主査】振興計画での取組事業として掲載しておりますが、推進計画でもこれらの事業に取り組んでいきます。指数の数値についても多少問題があると分析しておりますので、継続的に進行管理を行っていきます。
- 【松尾委員】私は陸上競技をやっている、千葉市内でランニングクラブをやっているのですが、サッカーや野球などの学校訪問活動もいいと思います。ランニング教室や体操教室など、全員が同じようにでき、基礎体力もあがるようなものもあっていい

かなと思います。富士通陸上競技部のコーチ・監督とは私が現役の頃にやっていた時に一緒に走っていたので、千葉市との関わりについて聞いてみたところ、あまりピンとこない感じだったのですが、どういった形でコンタクトを取って、実施しているのでしょうか。また、ゆかりのトップスポーツチームの中で、女子のチームが少ないので、もっと女子のクラブがあるといいと思うのですが、そうしたチームは現状でありますでしょうか。

【安藤課長】富士通陸上部との関わりについてですが、日々コンタクトを取るということはしておらず、学校訪問活動をお願いするときに、学校とチームとのコーディネートをしているという状況です。今年度も学校にアンケートを取って、どのチームにきてほしいかというのを調査しているので、そこで富士通陸上部を希望した学校を対象にチームと調整をしています。昨年度は高瀬慧選手に学校訪問活動をしていただいたのですが、子どもたちの反応が非常に良かったと聞いています。女子のクラブについては、ジェフレディースもあります。全国で活躍するようなチームが出てくればぜひ連携させていただきたいと思いますが、また、そういったことを目指すチームがあれば支援をしたいと思いますが、記載のあるチーム以外、現時点では把握しておりません。

【小川会長】そのほかに質問などございませんでしょうか。

【委員】<なし>

【小川会長】続きまして議事（２）、「障害者スポーツの推進について」、事務局よりお願いします。

【内山主査】<資料6により説明>

【小川会長】今の説明について、質問、ご意見等ありましたらお願いします。

【小川委員】障害者のスポーツ指導員の養成講習会等を実施していくということで、指導員を増やしていくということですが、一方で資格を取っても受け皿がないという説明がありました。具体的に受け皿を増やしていくための施策等がありますか。

【安藤課長】障がい者スポーツ指導員の役割としましては、地域に障害者の方がお住まいです。そうした方にスポーツの楽しさを知っていただいたり、実際にやりたいという方に、どうしたら一緒に楽しむことができるかなど、障害者が地域スポーツを始める導入の役割を担っていただきたいと思っております。そのため、地域で行われるスポーツ行事等ありましたら、そういったところに障害者の方が参加できるように、工夫をしていただき、障害者の方への声掛けなどにより一緒にスポーツができるように、活躍していただきたいと思っております。我々も色々な障害者スポーツイベントがありますので、そうした機会に積極的に声掛けをするなどし、指導員一人ひとりの資質の向上を図り、地域に還元していただきたいと思っております。

【山根委員】障がい者スポーツ指導員の資格というのは、障害を持っている方々を知ろうというのが趣旨となります。障害の範囲は広いので、例えば内部疾患や高度機能障害の方々など、障害者手帳を持つと、障害者となります。そうした方々が地域でスポーツをやりたいと思った時に、地域に障害というものを知っている方が一人いれば、バスケットをやりたいという時に、どうしたら健常者と一緒にできるか、というような橋渡しの役割を担える人を増やす、個人の知識として持ってもらうという資格です。障害者スポーツは特別なものではなく、指導する方の工夫によってどんな障害を持っていてもスポーツや運動ができます。障害者だからと言って排斥してはいけない、

というのが私の考えです。

- 【本澤委員】区民祭りでの体験会の実施とありますが、実施にあたっては体育館が必要だと思いますが、区民祭りの会場は公園が多く、できる場所が限られてくると思うのですがどのように実施するのですか。
- 【安藤課長】花見川区の花島公園などでは体育館が使用できるので、車椅子バスケットボールやウィルチェアラグビーなどの体験会を実施する予定です。体育館を用意できない場所では、例えばブラインドサッカーのような視覚障害の方のサッカーなど、公園内でもできる競技もありますので、そうした競技の体験会を実施していきます。
- 【山根委員】ウィルチェアラグビーは車椅子同士でぶつかることもあり、床が非常に傷つきます。千葉市で床の養生材を買っていただいて、ポートアリーナで使わせてもらっています。一番の問題は車椅子競技もいいのですが、床が傷つくということで、ほとんどの体育館で利用できなかった。それをなんとか解決しないと。これからさらに改良されていくと思いますが、用具を使う競技については、施設関係の問題が生じています。
- 【佐藤委員】パラスポーツフェスタの開催ということで、県から協力依頼を受けていますが、市も主催となっているイベントなのですか。
- 【内山主査】本イベントについては、県、市、NHK千葉放送局の3者が主催しています。県では各トップスポーツチームさんとの調整、市では市政だより等で参加募集などをします。NHKではFMの公開放送を実施するなど、体験イベントだけでなく、様々な楽しみができるイベントとなっていますので、一人でも多くの市民に集ってもらい、障害者スポーツに触れ、楽しんでもらえればと考えています。馬場先生にもご協力いただいています。フェスタ終了後に、大学対抗のシッティングバレーボールの大会をやるかという計画もあります。帝京平成大学、千葉大学の学生さんたちに障害者スポーツを楽しみながら体験してもらおうということで、大変意義のあるイベントになると思います。こうしたイベントの開催は初めてなので、しっかりと準備を進めていきたいと思っています。
- 【馬場委員】県内で障がい者指導員の資格を持っている方にアンケート調査を実施したところ、資格を持っていて実際に活動をしている方は半分にも満たないという状況でした。興味があっても資格を取ったけども、活動はしていないという方が大半だったということでした。帝京平成大学では、初級障がい者の資格を過程認定で取れますが、ぜひ学生にもっと資格が取れるような働きかけが必要かと思っています。時間を持て余している学生も多いので、こうしたところに参加していく人材になるのではないかなと思います。県の大会の手伝いもしていますが、ボランティアが集まらないので学生を何十人出してほしい、というのが何日か前に来るという感じです。それで数十人学生を送ることもあれば、イベントがあっても行けないというのもあります。今回のパラスポーツフェスタは企画の段階からお手伝いさせていただいてまして、できれば、そのほかの事業でも、人手が足りないから大学に依頼して学生を出すというのではなく、継続的に、定期的に関わるなど、市内と近隣の大学が連携して、何かあった時にみんなで支援するということになっていけたらいいなと思いました。学生も採用試験の申込書にボランティアの活動を記載する欄があって、学生からボランティアを紹介してほしいという話も多々あります。学生もきっかけは別にして、ボランティアをやりたいというニーズもありますので、大学の学生と連携できるよ

うな取組もあるといいなと思います。

【安藤課長】大学は市内、近隣にたくさんありますので、そうした学生の力をお借りしたいと思っています。大学同士の連携に関しては、行政が中心となってというのは難しいとは思いますが、そういうつながりを持つようなきっかけづくりができればいいなと思います。まさにパラスポーツフェスタはそういうきっかけになると思いますので、こうしたものをさらに発展させていけたらと思います。

【小川会長】そのほかに質問などございませんでしょうか。

【委員】<なし>

【小川会長】議事については以上となりますが、そのほか何かご質問やご意見などありますでしょうか。

【小川会長】市体育協会からお知らせがあります。市体育協会が今年創立 70 周年となります。来年の 2 月 4 日の土曜日にオークラ千葉ホテルで 70 周年記念式典を行います。審議会の皆様にもご出席いただきたいと考えておりますので、よろしくお祈いします。

【委員】<なし>

【小川会長】それでは、以上で協議を終了します。ご協力ありがとうございました。進行を事務局にお返しします。

【山崎課長補佐】小川会長、議事進行ありがとうございました。最後に、事務局より連絡がございます。

【竹内主事】平成 28 年度第 2 回の審議会については 11 月 9 日の水曜日を予定しておりますが、確定しましたらご連絡しますので、お忙しとは存じますが、ご出席につきまして宜しくお願いいたします。連絡は、以上です。

【山崎課長補佐】それでは、これをもちまして、「平成 28 年度第 1 回千葉市スポーツ推進審議会」を終わらせていただきます。ありがとうございました。

閉 会 午後 4 時 0 0 分